

ラリーガイド 1



FORUM8
2024
Rally Japan
WRC
NOVEMBER 21 - 24

FORUM8 RALLY JAPAN 2024

WWW.RALLY-JAPAN.JP

Title Partner



Gold Partner



Silver Partner



Bronz Partners



FORUM8 2024 FIA WORLD RALLY CHAMPIONSHIP ROUND13

Rally Japan 2024

AICHI/GIFU 11.21 THU - 24 SUN



FORUM8 WRC2 MOST STAGE WINS AWARD



フォーラムエイトが優秀なWRC2ドライバーを称える新表彰制度

**フォーラムエイトラリージャパン2024を
タイトルパートナーとして応援しています**

バーチャルフォーラムエイト
ラリージャパン2024



11月ラリーメタバーズNFT公開予定!

マイカー機能でオリジナルラリーカーにカスタマイズ3DモデルNFT取得で追加パーツをGET!
子ども向けバーチャルラリー教室などを開発予定



ラリージャパンは環境に配慮した 持続可能な大会運営を目指します



ラリージャパン2024 環境政策

ラリージャパン2024実行委員会は、FIA世界ラリー選手権フォーラムエイト・ラリージャパン2024の開催に際して、環境保全の必要性を認識し、その責任を果たすため環境負荷の把握、最小化に取り組みます。また、関係者と環境配慮の価値観を共有し、意識向上にも努めます。

私たちは、以下のマニフェストを厳守し、環境に配慮した持続可能な大会運営を目指します。

1. 国際及び国内の法的枠組みに従い環境要件の遵守に努めます。
2. 関係者とともに、環境に配慮した取組を推進します。

(1) 環境にやさしい大会づくり

- ・大会で使用するエネルギーは、積極的にクリーンエネルギーを活用します。
- ・大会で発生する廃棄物を可能な限り抑えるとともに、効果的な分別や処理を実施し、リサイクルとリユースを推進します。
- ・観客等にゴミの分別や持ち帰りの協力を適切に案内します。
- ・環境に影響を及ぼす排水は適切に回収・処理します。また水の使用を最小限に抑えます。
- ・サプライヤーと連携し、環境に配慮した持続可能な調達を目指します。
- ・大会運営で使用する資材は、積極的に環境配慮素材を活用します。
- ・実行委員会メンバー及び関係者（サプライヤー、メディア関係者、観客等）に対し、公共交通機関の利用及び乗り合いを推奨します。
- ・大会全体の炭素排出量を測定するとともに発生要因等を分析し、2030年までにカーボンニュートラルを目指します。

(2) 山林保全

- ・この地域では長年にわたり、人の営みにより森林保全に努めてきたため、林道等を活用したラリー競技を開催することができま
- す。この競技を通じて、山村の魅力を国内外に発信し、森林が果たす役割を伝えていきます。
- ・定期的な環境調査を実施し、動植物の生態系環境へ影響を与えないように努めます。

(3) 子どもたちへの教育

- ・小中学生等に、FIA世界ラリー選手権を題材とした持続可能な社会について考える機会を作ります。

3. FIA環境認証プログラムに照らし合わせて私たちが定めた環境目標と環境政策を年に1回適切に評価・管理し、継続的に改善するために必要な措置を講じます。

2024年6月

ラリージャパン2024実行委員会会長

太田 稔彦



エントラントの皆様 - 環境への配慮をお願いします。



土壌汚染を避けるため、以下の対応をお願いします

- 常に車や発電機の下にマットを敷く
- 部品の清掃は、主催者の規定に従う
- 危険な液体容器（燃料ドラム、キャニスターなど）の下には、流出防止のトレイを配置する。



水の使用については、
無駄のないようにすること



廃棄物の分別は、
ルールに沿って適切に行うこと

Contents

1	ごあいさつ	5	8	車両と部品の日本への持ち込み/日本での運転	
2	オーガナイザーの連絡先		8.1	外国籍車両の日本国内の公道における走行について	15
2.1	大会事務局	6	8.2	車両に係る規則と保険	15
2.2	主要オフィシャル	6	8.3	日本国内を運転する条件	16
2.3	ラリー本部(ラリーHQ)	6	9	ヘリコプター	
2.4	ラリー競技事務局	6	9.1	登録手続	17
2.5	メディア連絡先	6	9.2	ヘリコプター事業者	17
3	プログラムおよび主要な締切		10	ホスピタリティの手配	18
3.1	大会期間前のスケジュール	7	11	宿泊手配	18
3.2	大会期間中のスケジュール	7	12	メディア	
3.3	ラリーHQとメディア受付・メディアセンター開場時間	9	12.1	大会開始前の連絡先	18
4	エントリー		12.2	FIAパーマネントパス保持者	18
4.1	タイトル	9	12.3	国際メディア、フォトグラファー、ラジオ、インターネット	18
4.2	エントリー基準と受付期間	10	12.4	テレビ	18
4.3	参加台数	10	12.5	国内メディア、フォトグラファー、ウェブサイト、ラジオ	19
4.4	車両クラス	10	13	医療とセーフティサービス	
4.5	エントリーフィー(WRC参加者)	11	13.1	緊急通報用電話番号	19
4.6	エントリーフィー(ノンプライオリティ)	11	13.2	医療サービス	19
4.7	プライベートテスト	11	13.3	ロードサービス	19
4.8	エントリーパッケージ	12	13.4	薬局	19
5	サービスパーク		14	総合案内	
5.1	サービスパークの場所と開設時間	12	14.1	中部セントレア国際空港(NGO)	20
5.2	サービスパークの設備	12	14.2	鉄道	20
5.3	サービスパークへの燃料の持ち込み	13	14.3	タイムゾーン	20
5.4	環境対応、リサイクル、廃棄物回収	13	14.4	日の出/日の入り	20
6	無線	13	14.5	平均気温/降水日数	20
7	燃料/タイヤ		14.6	通貨	20
7.1	FIA燃料	13	14.7	税金	20
7.2	給油	13	14.8	チップ	20
7.3	リモートリフューエルゾーン	13	14.9	電気	20
7.4	安全燃料タンク	14	14.10	携帯電話	20
7.5	FIA燃料サンプル用カップリング	14	14.11	各国大使館	21
7.6	タイヤ	14	14.12	ビザ(査証)	21

本書はガイドブックであり、規則的拘束力はありません

1 ごあいさつ

「フォーラムエイト・ラリージャパン2024」の開催にあたり、多くの関係者の皆様に御理解と御協力をいただき御礼申し上げます。

愛知・岐阜での開催が3年目となる今大会では、ラリーファンの裾野拡大を目指し、前大会に続き、豊田スタジアム内に特設コースを設ける予定です。サービスパークに隣接するスタジアムの特設コースは世界的にも珍しく、多くの皆様に世界最高峰のラリー競技とスタジアムならではの演出をお楽しみいただけたと思います。また、日本らしい紅葉を背景に里山を走り抜ける迫力あるラリーカーの姿にも、ぜひ御注目ください。

加えて、競技参加者をはじめ皆様の御協力もあり、FIA環境認証プログラムでは最高ランクの3つ星を獲得でき、引き続き、環境にやさしい大会づくりを進めてまいります。

今大会は、前大会のコンセプト「ENJOY! RALLY JAPAN」を引き継ぎ、ファン、チーム、開催地の皆様と一緒に、子どもから大人、そして、家族と一緒に楽しむことができる大会を目指してまいります。

選手やチームの力を存分に発揮いただけるよう、主催者として安全な大会運営に努めますので、多くの皆様の御参加をお待ちしています。

太田 稔彦

ラリージャパン2024実行委員会会長
豊田市長



この度、多くの皆様の御理解と御協力をいただくことにより、フォーラムエイト・ラリージャパンが愛知県と岐阜県で3年目の開催となります事を関係者として大変ありがたく感じております。

FIA世界ラリー選手権は、一般道を車の性能を最大限に引き出して走るため、ドライバーとコ・ドライバーの大変高度な技術を要するモータースポーツです。その中でも、ラリージャパンは、愛知県及び岐阜県の林道を活用した競技コースを設定し、日本の美しい里山の中で、次世代へとつながる持続可能な競技を目指して取り組んでまいりました。選手と車の技術だけではなく、この競技を支えるあらゆる人、モノ、エネルギー、環境において、多くの自治体とパートナー企業の御協力でカーボンニュートラルに向けた大会運営を目標に掲げ、大きな評価をいただくことにもなりました。

また、日本国内で開催されているモータースポーツの国際大会は、F1、WEC、FORMULA-E、そしてWRCと4つの世界大会があり、関係者として大変名誉な事と感じております。

過去には日本の自動車メーカーである、トヨタ、日産、三菱、スバル、マツダ、スズキ、ダイハツも参加しており、メーカー各社にとっても意義のある選手権になっており、これからのフォーラムエイト・ラリージャパンにも、多くの選手やチームを始めメーカーの皆様の参戦に期待が膨らむところです。

日本の真ん中で開催します「フォーラムエイト・ラリージャパン2024」を、参加する側も応援する側も存分に楽しんで盛り上げていただけますようお願い申し上げます。

関谷 正徳

ラリージャパン組織委員長
TMSC会長



2 オーガナイザーの連絡先

2.1 大会事務局

ラリージャパン2024実行委員会事務局: 豊田市ラリーまちづくり推進課内
〒471-0025 愛知県豊田市西町3丁目60番地 西庁舎8F
Tel: 0565 34 6950 Fax: 0565 34 6681

ラリー競技事務局: 特定非営利活動法人 MOSCO
〒471-0025 愛知県豊田市西町1丁目200番地 豊田参合館
Tel: 0565 41 3316 Fax: 0565 41 3319

E-メール: info2024@rally-japan.jp*一般的なお問い合わせ
entry@rally-japan.jp*エントラントからのお問い合わせ

ウェブサイト: <https://rally-japan.jp>

X: @2020rallyjapan

フェイスブック: @2020rallyjapan

インスタグラム: rally_japan

2.2 主要オフィシャル

イベントディレクター: 中神 泰次
y-nakagami@rally-japan.jp

イベント副ディレクター: 塚田 知宏
tomohiro-tsukada@rally-japan.jp

競技長: 高桑 春雄
h-takakuwa@rally-japan.jp

競技事務局: 高橋 浩司
k-takahashi@rally-japan.jp

2.3 ラリー本部 (ラリーHQ)

スカイホール豊田
〒471-0861 愛知県豊田市八幡町1-20
Tel: TBC
ウェブサイト: <http://www.toyota-taikyo.or.jp>
ラリー本部 (HQ) は11月15日 (金) から25日 (月) まで開設される予定です。
開場時間は3.3項を参照ください。



2.4 ラリー競技事務局 - Rally Office * 11月14日 (木) まで

NPO法人MOSCO 豊田事務所
〒471-0025 愛知県豊田市西町1丁目200番地 豊田参合館2F

2.5 メディア連絡先

三浦 正人 (ナショナル・プレス・オフィサー)
masato-miura@rally-japan.jp

3 プログラムおよび主要な締切

3.1 大会期間前のスケジュール

7月17日 (水)
ラリーガイド1発行
8月27日 (火)
無線免許申請及びヘリコプター登録の締切日
9月12日 (木)
ピレリタイヤの注文締切日 FIA燃料の注文締切日
9月21日 (土)
特別規則書ホームページ公開 エントリー受付開始 メディア申請受付開始日
10月11日 (金)
臨時運行許可証申請締切
10月21日 (月)
エントリー締切 レッキのみ参加者登録締切
10月24日 (木)
ラリーガイド2発行
10月28日 (月)
エントリーリスト発行 - デジタル掲示板
10月31日 (木)
ナショナルプレスオフィサーへのメディア申請締切 (国内メディア)
11月6日 (水)
FIAメディアデレゲートへのメディア申請締切 (インターナショナルメディア)

3.2 大会期間中のスケジュール (日本時間(JST)=UTC+9h)

11月15日 (金)		
12:00 - 20:00	サービスパーク・オープン - プライオリティドライバー	豊田スタジアム
11月16日 (土)		
7:00	サービスパーク・オープン - 全参加者	豊田スタジアム
15:00 - 20:00	臨時運行許可証事前配布 (プライベートテスト参加者向け)	ラリーHQ
11月17日 (日)		
9:00 - 15:00	プライベート・テスト	林道池田線 (鞍ヶ池)
9:00 - 19:00	参加確認 - 時間指定制	ラリーHQ
11月18日 (月)		
6:00 - 16:30	レッキ1日目	

11月19日 (火)		
6:00 - 16:00	レッキ2日目	
12:00	ルートノートカー受付終了 (Rally1およびRally2クルーのみ)	ラリーHQ
15:00 - 18:30	FIAセーフティラッキングデバイス配布	SASオフィス・サービスパーク
11月20日 (水)		
6:00 - 15:30	レッキ3日目	
9:00 - 12:00	車検&シーリング - ラリー1車両	サービスパーク内 各チームのサービスベイ
13:00 - 16:00	救出訓練	ミーティングルーム 豊田スタジアムB2
14:00 - 19:00	公式車検&シーリング - その他の全車両	豊田スタジアムB2駐車場内車検場
15:30 - 16:00	タバードメディア・セーフティブリーフィング	ミーティングルーム 豊田スタジアムB2
16:00	WRCチームマネージャーミーティング (招待者のみ)	
17:00 - 18:00	豊田シティセンターPRイベント (招待P1&P2ドライバー・車両)	未定
19:00	ドライバー・セーフティブリーフィング	ミーティングルーム 豊田スタジアムB2
19:20	WRCプロモーター・ドライバー/コ・ドライバー写真撮影 ヘルメット&レーシングスーツ着用 (2024年WRC初参戦のプライオリティクルー要参加)	メディアセンター
20:00	シェイクダウン・スタートリスト公開	デジタル掲示板
11月21日 (木)		
9:01 - 10:30	シェイクダウン - WRC P1と指名ドライバー	鞍ヶ池公園
10:31 - 12:30	シェイクダウン - 全プライオリティドライバー	
12:31 - 14:00	シェイクダウン - 全ドライバー (P1を除く)	
12:00 - 13:30	FIA WRCメディアペン (インタビュー)	ファンゾーン (西)
15:00	セレモニアルスタート、セクション1&2 スタートリスト公開	デジタル掲示板
15:00	参加選手サイン会	ファンゾーン (東)
16:00	ヘリコプターパイロット・ブリーフィング	ラリーHQ
18:00	スタートセレモニー	豊田スタジアム競技場
18:15 - 18:45	FIAミート・ザ・クルー (指名されたドライバー、コ・ドライバー、チーム代表)	豊田スタジアム競技場
18:52	セクション1スタート	豊田スタジアム
11月22日 (金)		
6:19	セクション2スタート	豊田スタジアム
未定	ミート・ザ・クルー	未定
20:00	セクション5スタートリスト公開	デジタル掲示板
11月23日 (土)		
6:19	セクション5スタート	豊田スタジアム
~18:15	ミート・ザ・クルー (チーム代表/トップ3ドライバー)	ファンゾーン
21:00	セクション8スタートリスト公開	デジタル掲示板

11月24日 (日)		
6:21	セクション8スタート	豊田スタジアム
14:15	ウルフ・パワーステージ	三河湖
15:15	パワーステージ・セレモニー	下山健康センターまどいの丘
16:30	表彰式・賞品授与	豊田スタジアム競技場
17:00	再車検	豊田スタジアムB2駐車場内車検場
17:00 - 20:00	臨時運行許可証（仮ナンバー等）の返却	競技者受付- サービスパーク
17:30 - 19:00	FIAセーフティラッキングデバイス返却	SASオフィス - サービスパーク
19:00	暫定結果発行	デジタル掲示板

3.3 ラリーHQとメディア受付・メディアセンター開場時間

日付	曜日	競技オフィス	ラリーHQ	メディア受付	メディアセンター
11月11日	月	09:00-19:00			
12日	火	09:00-19:00			
13日	水	09:00-19:00			
14日	木	09:00-19:00			
15日	金		09:00-19:00		
16日	土		09:00-19:00		
17日	日		08:00-20:00		
18日	月		08:00-20:00		
19日	火		08:00-20:00	14:00-18:00	14:00-18:00
20日	水		08:00-20:00	08:00-18:00	08:00-20:00
21日	木		08:00-21:00	08:00-18:00	08:00-22:00
22日	金		06:00-21:00	08:00-12:00	06:30-22:00
23日	土		06:00-22:00	-	06:00-22:00
24日	日		06:00-20:00	-	06:30-21:00
25日	月		09:00-12:00	-	-

4 エントリー

4.1 タイトル

- FIA 世界ラリー選手権ドライバー/コ・ドライバー部門
- FIA 世界ラリー選手権マニュファクチャラーズ部門
- FIA 世界ラリー選手権チーム部門
- FIA WRC2 選手権ドライバー/コ・ドライバー部門
- FIA WRC2 チャレンジャー選手権ドライバー/コ・ドライバー部門
- FIA WRC2 選手権チーム部門
- FIA WRC マスターズカップ ドライバー/コ・ドライバー部門
- FIA WRC3 選手権ドライバー/コ・ドライバー部門

4.2 エントリー基準と受付期間

FORUM8 Rally Japan 2024 に参加を希望する者は、[FIAウェブサイト](#)に掲載されている電子エントリーフォームに必要事項を記入し、エントリー締切日までに提出してください。電子フォームを送信することにより、競技者は本大会の規則及び規定を遵守するものとみなされます。また参加者は、参加受付の際にエントリーフォームに署名を求められます。エントリーフォームの締め切りは、**日本時間10月21日(月) 17:00 (UTC +9時間)**です。

ナショナルクラスにエントリーする参加者は、エントリー開始後、ラリージャパン・ウェブサイトに掲載される別のエントリーフォームに記入して期日までに提出してください。

4.3 参加台数

参加台数の上限は60台です。エントリー数が上限を上回った場合、オーガナイザーは当該台数を増やす権利、及びノンプライオリティドライバーの中から参加可能なエントリーを決定する権利を有します。参加車両は、2024年FIA WRC競技規則第12条4項記載の通り各クラス（およびグループ）に振り分けられます。

4.4 車両クラス

A. 2024 FIA WRC 競技規則第12条4項「車両クラス」

CLASSES	GROUPS	
RC1	World Rally Cars: 1.6 l ターボエンジン	<ul style="list-style-type: none"> *2024年付則J項第262条に準拠した Rally 1車両 *2021年付則J項255条Aに準拠したワールドラリーカーで、ドライバーが過去5シーズンにおいて WRCマニファクチャラーチーム(5.3条で定義されるWRCチームではない)でポイントを獲得しておらず、また以下のポイントを除き255A-334条に準拠したリストラクターを装着している場合。 <ul style="list-style-type: none"> a) リストラクターの最大内径33.7mm b) 最も狭いところのリストラクター最大外径が39.7mm未満でなければならず、各側面に5mmの距離にわたって維持されなければならない。 *2013年12月31日以前に公認されたワールドラリーカーで、100/01 KSR追加公認、さらにWR追加公認、および2013年付則J項第255条Aに準拠したもの。2016年12月31日以前に発行されたFIAパスポートを持つWRCカーが認められる *2014年1月1日以降に公認され、200/01WRCにて追加公認されワールドラリーカーおよび2016年の付則J項第255条Aおよび、2016年12月31日以前に発行されたFIAパスポートを持つWRCカーだけが認められる *2015年1月1日以降に公認され、300/01WRC追加公認および、2016年付則J項第255条Aおよび 2016年12月31日以前に発行されたFIAパスポートを持つWRCカーだけが認められる
RC2	Group Rally2 Group Rally2 Kit	<ul style="list-style-type: none"> *2024年付則J項第261条に準拠したグループラリー2車両 *2024年付則J項第260条Eに合致したRally2キットカー
RGT	RGT Cars	<ul style="list-style-type: none"> *2019年付則J項第256条に準拠したグループRGT車両 *2024年付則J項第256条に準拠したグループRGT車両
RC3	Rally3 (排気量1390cc以上 2000cc以下及び927cc以上 1620cc以下のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> *2021年1月1日以降に公認され、2023付則J項第260条に適合しているグループ Rally3車両
RC4	Rally4 (排気量1390cc以上 2000cc以下または927cc以上 1333cc以下のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> *2019年01月01日以降に公認され、2024年付則J項第260条に適合しているグループ Rally4車両 *2018年12月31日以前に公認されたグループR2車両で、2018年付則J項第260条に適合している車両
	R3 (排気量1600cc以上2000cc 以下または1067cc以上1333cc以 下のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> *2019年12月31日以前に公認され、2019年付則J項第260条に適合しているグループ R車両
	R3 (排気量1620cc以上のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> *2019年12月31日以前に公認され、2019年付則J項第260条に適合しているグループ R車両
RC5	Rally5 (排気量1600cc以下 または1333cc以下のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> *2019年1月1日以降に公認され、2024年付則J項第260条に適合しているグループ Rally5車両
	Rally5-Kit (排気量1600cc以上 のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> *2024年1月1日以降に公認され、2024年付則J項第260条Bに適合しているグループ Rally5キットカー
	Rally5 (排気量1600cc以下 または1067cc以下のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> *2018年12月31日以前に公認され2018年付則J項第260条に適合しているグループR1車両

B. ナショナルクラス車両/リージョナルカー

JAFによる承認を受けFIAへの申し出がなされた車両は第12条3項に基づきエントリーできる。これらの車両は、2024年FIA国際モータースポーツ競技規則附則J項第253条で定められた安全要件を完全に満たしており、また、および2024年WRC競技規則で定められた関連するすべての条項（タイヤ、バーコード、燃料、再スタート規定等）に合致していなければならない。

クラス	グループ	
JR1	2500ccを超える車両	*2000ccを超えるグループNR4車両（現行のN4車両） *Rally 2車両/AP4車両/JP4車両 *2500ccを超えるJAF規定 RJ及びAPRC国内車両
JR2	1600ccを超え最大2500ccまでの車両	* 日本国内の JAF 規則 RJ および APRC 認定車両 - 1600cc 超 2500cc までの自然吸気車両 * 日本国内の JAF 規則 RJ および APRC 認定車両 - 942cc 超 1600cc(公称)までの 2WD ターボ車両
JR3	1600cc以下の車両	*1600ccまでのJAF規定 RJ及びAPRC国内車両

4.5 エントリーフィー（WRC選手権参加者）

WRCプロモーターとラリージャパン2024実行委員会の合意に基づき、フォーラムエイト・ラリージャパン2024は、すべてのWRC選手権（FIA WRC競技規則に定めるWRC、WRC2、WRC2チャレンジャー、WRCマスターズカップ、WRC3）の参加選手を含むFIA登録メーカーおよびWRCチームの参加費は免除されます。

4.6 エントリーフィー（ノンプライオリティ）

以下の料金はすべて消費税10%込み

エントリーフィー:	770,000 JPY
レッキのみ:	154,000 JPY
補助車両プレート:	77,000 JPY

4.7 プライベートテスト

プライベートテストは、以下の要領で実施します。

開催日:	2024年11月17日（日）
時間:	9:30~11:30 / 13:00~15:00
場所:	林道池田線（豊田市）
参加資格:	クラスRC1にエントリーしている者を除く全ての競技参加者
料金:	1台につき77,000円（税込）

プライオリティドライバーは料金免除となります。

*レッキ時間の設定は以下の通り:

8:30から9:30 / 12:30から13:00（競技車両での走行可）

* 詳細とお申込みは、ラリーガイド2をご覧ください。

4.8 エントリーパッケージ（ノンプライオリティ）

サービススペース	サービススペース	6m× 7.5m	
車両プレート	サービス車両	1	
	補助プレート	1	
アドミニストレーション	特別規則書	ウェブサイト	
	ラリーガイド2	ウェブサイト	
	ロードブックセット	2	
	ルートマップ	2	
	公式プログラム	5	
イベントパス	チームパス	6	豊田スタジアム /岡崎SSS 自由席入場可
	ゲストパス	2	

5 サービスパーク

5.1 サービスパークの場所と開設時間

サービスパークは、豊田スタジアムに設置されます。GPS座標は以下の通りです。

N35 05 04.4 E137 10 15.4

サービスパークの最終的なレイアウトや詳細情報については、順次大会ホームページで公開します。FIAプライオリティドライバー/チームは、11月15日（金）12:00からサービスパークに入場できます。ノンプライオリティドライバー/チームは、11月16日（土）7:00からサービスパークに入場できます。

フレキシサービスは2024年FIA WRC競技規則第59条に基づき各日の最終サービスにて適用されます。

5.2 サービスパークの設備

サービスパーク周辺の各所では、以下のような施設やサービスが提供される予定です。

- ・トイレ
- ・廃棄物回収（*国内参加者は各自ゴミをお持ち帰りください）
- ・常設照明（一部）

以下のものは、事前のリクエストにより有償で提供いたします。

- ・専用トイレ
- ・有害廃棄物回収
- ・専用警備
- ・電話及び専用インターネット回線
- ・電源（100V, 60Hz）
- ・飲料水
- ・テント及び各種事務用品

ご注文は、ウェブサイトの「Service Park Facilities Order Form」をご利用ください。

「Service Park Facilities Order Form」に記載されていないアイテムについては、お問い合わせください。申込締切日：10月25日(金)

発電機について

・主催者は、サービスパークへ持ち込まれる全ての発電機について、事前に消防署へ申請しなければなりません。自家発電機を使用する場合は、必ず事務局へ発電機届出書のご提出をお願いします。提出締切日：10月25日(金)

・消防署より、発電機の横に消火器を1台ずつ設置するように指示されています（発電機1基に対し消火器1本）。消火器は、“粉末ABC消火器”または“電気火災・油火災・普通火災対応のものをご用意ください。

- ・発電機の周囲には、1m以上の空地を設けてください。
 - ・発電機を屋根付きの囲いで覆うことは禁止されています。
- 大会期間中、豊田市消防本部による立ち入り検査があります。

5.3 サービスパークへの燃料の持ち込み

サービスパークへの燃料の持ち込みは、日本の消防法で定めるとおり、1チームあたり40リットル以下（発電機用を含む）とします。

5.4 環境対応、リサイクル、廃棄物回収

競技参加者の皆様には、環境保護への取り組みにご協力をお願いいたします。

- 土壌汚染を防ぐために、オイルや汚水が地面に流れ出ないように、作業時はトレイやシートをご用意ください。
- 水は貴重な資源ですので、無駄な使用はしないでください。
- 廃棄物は主催者の指示に従って、分別の上で指定の場所に持ち込みください。国内の競技者の皆様は、ゴミをお持ち帰りください。

6 無線

日本では、双方向無線（Two-way radio）の使用が厳しく規制されています。双方向無線通信機器の使用を希望される方は、8月27日（火）18時（日本時間）までにラリージャパン競技事務局（entry@rally-japan.jp）までご連絡ください。無線機の周波数、型番、送信出力などの仕様が必要です。

7 燃料/タイヤ

7.1 FIA燃料

P1レーシングフューエルズは2024年のFIA燃料サプライヤーです。FIA燃料の使用は、すべてのプライオリティドライバーに義務付けられています（FIA WRC、Art.62.1.1参照）。ノンプライオリティドライバーは、主催者が指定するガソリンスタンドで、FIA燃料または市販のポンプ燃料を使用することができます。

競技者は、大会の10週間前（2024年9月12日（木））までに、唯一のサプライヤーであるP1 Fuels（<https://order.p1fuels.com>）に必要な燃料を通知しなければなりません。

注文マニュアル [リンク](#) [P1燃料オーダーフォーム 2024](#)

7.2 給油

FIA燃料は、ロードブックに記載された指定燃料補給ゾーン（RZ）のみで給油することが可能です。

（サービスパーク及び下記7.3に記載された3か所のリモートリフューエルゾーン）

ノンプライオリティドライバーは市販の燃料を使用することができます。この燃料は、ロードブックに記載されている指定ガソリンスタンドにて競技車両に直接給油されなければなりません。

7.3 リモートリフューエルゾーン

以下、3か所のリモートリフューエルゾーンが設定される予定です。

- ・11月22日（金）SS3、SS4、SS6走行後 設楽 [N35 06 00.2 E137 34 39.2](#)
- ・11月23日（土）SS11、SS13、SS15走行後 恵那 [N35 26 56.4 E137 24 47.4](#)
- ・11月24日（日）SS18走行後 下山支所 [N35 02 26.1 E137 19 08.3](#)

7.4 安全燃料タンク

全ての車両は、FIA国際モータースポーツ競技規則附則J項第253条14項に定めるFIA公認の安全燃料タンクの装着が義務付けられています。FIAテクニカルリストNo.1も併せて参照ください。

www.fia.com/regulation/category/761

<https://www.fia.com/homologations>

燃料タンクには、FIA指定の給油カップリングを装着しなければなりません。FIA WRC競技規則第62条3項2を参照ください。燃料タンクがトランク内にあり、コクピットとの間に防火隔壁があるノンプライオリティドライバーの競技車両は、一般の給油ポンプから直接給油するために一般的なキャップを装着することができます。

市販のポンプ燃料を使用するノンプライオリティドライバーは、漏斗の運搬、給油のためのサービス員の補助等について、特別規則書にて詳細をご確認ください。

7.5 FIA燃料サンプル用カップリング

FIAプライオリティドライバーの車両は、FIA燃料サンプルカップリングを装着しなければなりません。FIA WRC競技規則第62条3項5及びFIAテクニカルリストNo.5を参照ください。

7.6 タイヤ（路面：ターマック）

全ての競技者は、使用可能なタイヤに関して、2024年FIA WRC競技規則第13条を遵守するようお願いいたします。

FIAは、2024年WRC世界ラリー選手権のタイヤサプライヤーを以下の通り指定しています。

Pirelli Tyre S.p.A

Viale Piero e Alberto Pirelli n. 25 I-20126 Milano Italy

ウェブサイト: www.pirelli.com

連絡先担当者: Terenzio Testoni

Email: terenzio.testoni@pirellif1.com

Tel: +39 335 1227 136

4輪駆動車両で出場する選手は、ピレリの供給するタイヤを使用しなければなりません（ナショナルクラスに出場する4輪駆動車も同様）。

2輪駆動車の場合、タイヤメーカーは自由に選択できますが、2024年FIA WRC競技規則第13条3項1と第13条3項2を遵守しなければなりません。RGT車両については、第13条4項1及び第13条4項2を参照してください。

ピレリへのタイヤ発注は、遅くとも**9月12日（木）**までに、ラリージャパン2024のウェブサイト上にあるフォームから行ってください。

8 車両と部品の日本への持ち込み / 日本での運転

8.1 外国籍車両の日本国内の公道における走行について

日本国外で登録された競技車両、レッキ車両、サービス車両を日本国内で走らせるためには、主催者を通じて国土交通省から臨時運行許可証（臨時ナンバープレート）の交付を受けなければなりません。臨時運行許可証の申請には、自動車登録証と自動車検査証が必要です。申請には時間がかかります。**10月11日(金)18:00まで**に必要な書類のコピーのPDFデータを下記までメールにてお送りください。

entry@rally-japan.jp

なお、臨時運行許可証の取得には別途費用がかかります。また、日本での輸出入・輸送に関しては、確実かつ迅速に対応するため、必ずラリージャパンの公式貨物代理店（下記参照）へ発注するよう貨物代理店へお伝えください。そうでない場合は、臨時運行許可証をご用意することはできません。

(1)ATAカルネは、車両/工具/部品/タイヤ（大会終了後に再輸出されるもの）、及び販促品に使用することができます。ATAカルネで輸入されたものは、すべてラリー終了後に再輸出されることになっています。一時的であっても、禁制品の輸入は禁止です。

(2)SHIPPING INVOICEの使用については、フォーラムエイト・ラリージャパン2024の公式貨物代理店である株式会社クリエイイトトランスにご確認ください。

重要なお知らせ ガスが充填されたショックアブソーバーを含み高圧ガスボンベなどの危険物、食品、食器、医療品などを輸入しようとする、費用と時間のかかる煩雑な手続きを経て、特別な許可を受けなければなりません。そのうえ、手続きはご自身にて行わなければなりません。そこで、これらの物品は輸入するのではなく、現地で調達することをお勧めします。また、窒素ガスやアルゴンガスの販売、溶接機などのレンタルも予定しています。

フォーラムエイト・ラリージャパン2024における車両や物品の輸入は、下記の公式貨物代理店にお問い合わせください。

株式会社クリエイイトトランス

Tel:050-7112-3202

担当者: 森井真一<shin@create-t.com>

8.2 車両に係る規則と保険

フォーラムエイト・ラリージャパン2024に参加する車両は、FIA国際競技規則附則J項に定める場合を除き、道路運送車両法、道路交通法等の国内関連法令及びJAF国内競技車両規則（照明装置、排気音量等）を遵守しなければなりません。

また、フォーラムエイト・ラリージャパン2024に参加する車両（ラリーカー、及びレッキカー、サービス車両）は、下記 (a) 自賠責保険、及び(b)自動車保険への加入を求めます。

(a)自賠責保険 日本の公道を走行する車両（ラリーカー、及びレッキカー、サービス車両等）は、国内法により自賠責保険への加入が義務付けられています。

日本国内での登録済み車両以外の車両は、ラリージャパン事務局にて自賠責保険への加入手続きを実施するため、保険料相当額（10,000円）の負担を求めます。

(b)自動車保険 ラリーカー、及びレッキカー、サービス車両の運行中の他者（人）・他物との接触や、ドライバー/コ・ドライバーの死傷等を補償します。

FIAプライオリティドライバーは、ラリーカー、及びレッキカー（一時輸入の臨時運行許可車両）を含めて、ラリージャパン事務局にて自動車保険への加入手続きを実施します。ノンプライオリティドライバ

ーはラリージャパン事務局を通じてお申し込みいただくか、個別加入済みの有効な保険証券をエントリーフォームとともにご提出ください。

なお、自動車保険に個別加入する場合には、以下を充足させてください。

【自動車保険の要件】

- ・ 契約条件に合致し、賠償責任保険と人身傷害保険が有効であること
- ・ 対人賠償責任保険：支払限度額 無制限
- ・ 対物賠償責任保険：支払限度額 20億円以上
- ・ 人身傷害保険：無制限
- ・ ラリーカーについては、ラリー競技走行中の事故も補償可能であること

ラリージャパン事務局を通じて、自動車保険を申し込むノンプライオリティドライバーは、ラリージャパン2024のウェブサイトに掲載予定のフォームにてお申し込みください。保険料は年齢や補償期間によって異なりますが、15,000円から70,000円程度となります。

8.3 日本国内を運転する条件

日本で運転するためには、次のいずれかの免許証を所持している必要があります。（道路交通法第64条、同法107条の2）

1. 日本の免許証

2. 道路交通に関する条約（ジュネーブ条約）に基づく国際運転免許証

日本で運転できる国際運転免許証はジュネーブ条約締約国が発行し、同条約に定める様式に合致した国際運転免許証です。ジュネーブ条約締約国が発行した国際運転免許証であっても、他の条約（ウィーン条約等）に基づく様式により発行された国際運転免許証では、日本で運転はできません。

1949年ジュネーブ条約締結国：

[国連ウェブサイト](#)

[警視庁ウェブサイト](#)

国際運転免許証で運転するためには、次の要件を満たしている必要があります。

- a) 国際運転免許証の発給から1年以内であり、かつ日本に上陸した日から1年以内であること
- b) 道路交通法107条の2に規定するいわゆる「3か月ルール」に抵触していないこと

3. 日本で運転できる外国（地域）の運転免許証

スイス、ドイツ、フランス、ベルギー、モナコ、台湾で発給された運転免許証をお持ちの方は、次の要件を満たしている場合、これらの国（地域）の運転免許証で日本国内を運転することができます。

- a) 政令で定める者が作成した免許証の日本語翻訳を添付していること

日本語の翻訳文を作成する者として政令で定める者は以下のとおりです。

- (1) 免許証の発給機関又はその国の在日大使館・領事館等
- (2) 一般社団法人日本自動車連盟（JAF）
- (3) 台湾日本関係協会（台湾免許のみ）
- (4) ドイツ自動車連盟（ドイツ免許のみ）
- (5) ジップラス株式会社（台湾免許のみ）

- b) 日本に上陸してから1年を超えていないこと

- c) 道路交通法107条の2に規定するいわゆる「3か月ルール」に抵触していないこと

注：ラリージャパンは、JAFへの日本語翻訳申請を代行することができます。

費用：10,000円（翻訳文発行費用、諸経費等を含む）

申込期限：2024年10月4日(金)

問い合わせ先：entry@rally-japan.jp

JAFが発行する翻訳の有効期限は運転免許証と同じで、運転免許証の有効期限まで使用できます。ただ

し、運転免許証の更新時や住所変更など運転免許証の記載事項が変更になった場合は、再度翻訳を取得する必要があります。

4. 日本の免許を取得する場合（上記1～3に該当しない場合）

外国等の行政庁等の免許を受けている方は、その免許で運転することができる自動車等に関する日本の免許を、試験の一部免除により取得する手続きを申請することができます。（道路交通法第97条の2第3項）

注：フォーラムエイト・ラリージャパン2024に参加するドライバー及びコ・ドライバーに限り、ラリージャパン事務局は日本の免許取得をサポートします。できるだけ早くご連絡ください。

申込期限：2024年10月21日(月)

問い合わせ先：entry@rally-japan.jp

注意1:エストニア共和国が道路交通に関するジュネーブ条約に加盟したことにより、条約で承認された国際運転免許証で日本国内を運転することが可能になりました。そのため、日本語訳のついたエストニアの運転免許証で日本国内を運転することはできなくなりました。日本で運転される場合は、ジュネーブ条約に基づく国際運転免許証の取得など、他の手段をご検討ください。

参照リンク：

[外国人運転免許証と国際運転許可証（警視庁）](#)

[日本での有効な運転免許証（JAF/英語）](#)

[日本での自動車運転について（JAF/英語）](#)

[交通ルール（警視庁/英語）](#)

[道路のルール（JAF/英語）](#)

9 ヘリコプター

9.1 登録手続き

ラリーをサポートするために飛行するすべてのヘリコプターは、主催者に登録されていなければなりません。ラリー空域を管理するための標準的なプロトコルがあり、登録された航空機のみがこの空域を飛行することを許可されます。また、ヘリコプターの登録料が課されます。着陸地点のスケジュールとGPS座標は後日公開され、そこにはスペシャルステージとサービスパークが含まれます。パイロットブリーフィングへの出席は、すべてのパイロットに義務付けられています。

ヘリコプター登録の申し込みは、8月27日（火）18:00（日本時間）です。

連絡先：entry@rally-japan.jp

9.2 ヘリコプター事業者

ラリージャパン事務局が推奨するヘリコプター事業者は以下の通りです

朝日航洋株式会社

担当：真山陽一

youichi-mayama@aeroasahi.co.jp

セントラルヘリコプターサービス株式会社

担当：松野雄一

youichi-matsuno@central-heli.co.jp

10 ホスピタリティの手配

VIPホスピタリティパッケージをご希望の方は、**PIA DAIMANI Hospitality Experience** (PDHX/ぴあ) までお問い合わせください。パッケージのカスタマイズも可能です。下記メールアドレスまでご要望をお知らせください。

豊田スタジアムのスーパールーム（個室）は数に限りがあります。

個室をご希望の方は、お早めにPDHXまでご連絡ください。

info.pdhx@pia.co.jp

11 宿泊手配

JTB三河支店は、本イベントの旅行・現地手配代理店です。空港送迎、宿泊、レンタカー、食事、コーディネート等の手配を提供します。

*宿泊費はエントリー費に含まれません。

国内・国外からの宿泊予約は、ご希望の条件（宿泊日・人数等）を下記メールアドレスまでお送りください。

E-メール: rally_travel@jtb.com

12 メディア

12.1 大会開始前の連絡先

FIA WRCメディアデレゲート : Ms. Vera Dussausaye

Tel: +41 22 544 45 48

Mobile: +41 78 978 96 99

E-mail: vdussausaye@fia.com

Website: www.fia.com

ナショナルプレスオフィサー: 三浦正人

Mobile: +81 (0)90 3902 1555

E-mail: masato-miura@rally-japan.jp

Website: <https://rally-japan.jp/en>

12.2 FIAパーマネントパス保持者

アクレディテーションの申請は必要ありませんが、FIAメディアデレゲートとナショナルプレスオフィサーの両方に、パス所有者のイベントへの参加意思を伝えていただく必要があります。公式車検の5日前までに、Eメールにてお知らせください。

12.3 国際メディア、フォトグラファー、ラジオ、インターネットメディア

国際的な出版物、写真家およびウェブサイトからのすべての申請は、11月6日（水）までに、www.fia.comのオンライン認定システムを使って、所定の手続きに従ってFIAに行わなければならない。

12.4 テレビ

テレビ放送に関わる、放送局およびネットワークの申請は、2024年11月6日（水）までに、WRCプロモーターに連絡してください。

accreditation@wrc.com

12.5 国内メディア、フォトグラファー、ウェブサイト、ラジオ局

日本国内の報道機関およびフリーランス（出版、ラジオ、ウェブサイトと取材委託契約を結んでいる方）は、9月21日（土）から10月31日（木）までの間に、ラリージャパン・ナショナルプレスオフィサー宛に申請してください。ガイドライン及び申請フォームは、後日ラリージャパン公式サイトに掲載します。記入済申請フォームと補足書類は併せてmedia-rj@rally-japan.jpまで提出してください。

注意1:ウェブサイトメディアにはジャーナリストパス1枚のみの発給となります。フォトグラファースは発給されません。

注意2:フォーラムエイト・ラリージャパン2024に出場するチームのメディア関係者は、WRCプロモーター: accreditation@wrc.com を通じて申し込んでください。

13 医療とセーフティサービス

13.1 緊急通報用電話番号

救急車/消防車: 119
警察: 110

13.2 医療サービス

愛知医科大学病院

愛知県長久手市岩作雁又1-1

N35 11 29.4 E137 02 55.8

Tel: +81 (0)561 62 3311 www.aichi-med-u.ac.jp/hospital/

岐阜大学医学部附属病院

岐阜県岐阜市柳戸1-1

N35 28 06.9 E136 44 01.1

Tel: +81 (0)58 230 6000 www.hosp.gifu-u.ac.jp

13.3 ロードサービス

スペシャルステージ又はリエゾン区間でロードサービスを利用した場合の費用はすべて競技参加者の負担です。オーガナイザーが手配したサービスを利用した場合も同様です。

ラリージャパン事務局が手配した保険加入の場合、サービスパークまでのレッカー移動は保険対象となります。

JAFロードアシスト Tel: +0570 00 8139 (コールセンター)

主催者保険によるレッカー手配 Tel: +0120-096-991(コールセンター)

13.4 薬局（サービスパーク周辺のドラッグストア）

	場所（GPS座標）	電話	開店時間
Vドラッグ 拳母店	N35 05 02.0 E137 09 46.0	0565 37 8855	9:00 - 21:00
スギ薬局 陣中店	N35 05 40.0 E137 09.52.4	0565 85 8810	10:00 - 22:00
ドラッグスギヤマ 美里店	N35 04 58.0 E137 10 52.1	0565 87 1171	10:00 - 21:00
スギ薬局 美里店	N35 04 26.4 E137 10 54.0	0565 87 3571	9:00 - 24:00
スギ薬局 元宮店	N35 04 20.4 E137 09 49.0	0565 36 0160	9:00 - 22:00

14 総合案内

14.1 空港 - 中部セントレア国際空港(NGO)

愛知県常滑市にある中部セントレア国際空港は、アジアのハブ空港のひとつとして国際線20路線、国内線18路線が就航しています（2024年6月現在）。名古屋の中心部からのアクセスは車で40分、名鉄の快速電車は最短で28分です。

名鉄バスでは、豊田市駅とセントレア空港を結ぶ路線を運行しています。所要時間は約80分です。詳細は下記ウェブサイトを参照ください。

<http://www.meitetsu-bus.co.jp/airport/toyota>

14.2 鉄道

国内鉄道網と公共交通機関が整備された名古屋は、新幹線で東京から約100分、大阪からは約50分と、各方面からのアクセスが非常に良い大都市です。名古屋から豊田スタジアム（豊田市駅）までのアクセスは、豊田スタジアムホームページ（<https://www.toyota-stadium.co.jp/access/>）をご覧ください。電車で約70～80分です。

14.3 タイムゾーン

日本のタイムゾーンは日本標準時（JST）で、UCT +9時間です。

14.4 日の出/日の入り

11月24日の豊田市の日の出は6時30分、日の入りは16時43分です。

14.5 平均気温/降水日数

最高気温17℃/最低気温6℃

11月の平均降水日数：6日（豊田市）

14.6 通貨

通貨は日本円（JPY/¥）です。紙幣と硬貨は簡単に識別できます。1,000円、2,000円、5,000円、10,000円の紙幣と、1円、5円、10円、50円、100円、500円の硬貨があります。1ユーロ＝約170円、1 US \$ = 約160円、1 £ = 約200円です。

14.7 税金

日本の消費税（標準税率）は10%です。一部、酒類や外食を除く食料品を対象とする軽減税率は8%です。店舗や商品によっては税抜き表示の場合があります。

14.8 チップ

日本にはチップの習慣はありません。

14.9 電気

日本の電圧は100ボルトです。愛知県の周波数は60Hzです。プラグは北米で使用されているもの（Aタイプ）と同じです。

14.10 携帯電話

最新の携帯電話のほとんどは日本で使用できますが、一部の古い機種は通信方式の違いにより作動しない場合があります。GSM形式の携帯電話は日本では使用できません。



14.11 各国大使館

外務省ホームページでご確認ください。

在日外国公館: www.mofa.go.jp/about/emb_cons/protocol/index.html

大使館・領事館: www.mofa.go.jp/about/emb_cons/over/index.html

14.12 ビザ (査証)

日本は2024年4月8日現在、71か国・地域に対してビザ免除措置を講じています。パスポートがビザ免除の対象かどうか必ずご確認ください。ビザを申請する必要がある場合は、最寄りの日本大使館・領事館にお問い合わせください。COVID-19に関する入国制限の特別措置は終了しました。

[外務省・ビザ免除国・地域 \(短期滞在\)](#)

